



お元気ですか！
志村 たかよし です

第906号 2018年9月23日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

農水大臣が豊洲市場認可書を交付

「閣議決定」の約束を踏みにじる暴挙

日本共産党、市場関係者、消費者団体…が抗議

9月10日、斎藤農水相は多くの反対の声を無視して、「豊洲市場認可書」を東京都に交付しました。

豊洲市場の認可にあたっては、福田内閣が笠井亮衆院議員の質問主意書にたいして「土壌汚染の安全性の科学的な証明」「丁寧な説明による関係者や都民の理解」が大前提であるという答弁書を「閣議決定」しており、安倍内閣のもとでもその立場は変わらないと安倍首相が国会で答弁していました。この二つの大前提が不十分であ



ーコマ1・5mと狭い水産仲卸＝豊洲市場

るにもかかわらず、農水相が認可したのです。

この暴挙に対し、日本共産党をはじめ、市場関係者や消費者団体、労働組合などからも抗議の声をあげりました。

市場として最もふさわしくない所

豊洲の土壌汚染は、対策後も直近の地下水調査でこれまでで一番高い環境基準の170倍の「ベンゼン」が検出されています。環境基準で出てはいけない「シアン」も検出されています。

都知事の「安全宣言」は、専門家会議が有効性を確認したことを根拠にしていますが、正式な専門家会議を開かない「持ち回りの会議」でした。また、専門家会議以外の科学者・研究者のクロスチェックも行われていません。

豊洲市場は東京ガス工場跡地であり、深刻な土壌汚染が今なお残っていて、市場として最もふさわしくない所です。

反対の声はあがり続けている

卸売市場法は「売買参加者その他の利害関係者の意見を聞かなければならない」としているにもかかわらず、都は、卸売市場審議会や都の業界団体で構成される新市場協議会で意見聴取をただけでした。

世界一といわれる「築地ブランド」を育んできた要となる仲卸業者はもとより、市場関係者、消費者からは、多くの反対の声をあげり続けています。

取扱量見込みを過大に予測

豊洲市場の事業計画は、2023年度の供給対象人口が5万人減るとしながら、水産物の取扱量は1・6倍に増えるとの過大な予測を立てています。

党都議団の試算では、開場すれば年間100億円を超える赤字になり、市場会計の継続性が保たれる保障はありません。

この赤字は、市場業者に転嫁され、消費者にも影響を与えます。

「築地市場営業権組合」 「築地女将さん会」が抗議の声明

農水相が認可した10日、「築地市場営業権組合」と「築地女将さん会」は、「移転計画は絶対におかしい」「卸売市場法に違反」とする声明を出しました。

声明は、交通アクセスが悪く、日本最大規模の土壤汚染区域であり、駐車場も不足していると指摘し、卸売市場法の認可基準として定めた「生鮮食料品等の卸売の中核拠点として適切な場所に開設され、かつ、相当の規模を有する」に違反していると断じています。

土壤汚染の「追加対策」についても、専門家会議を非公開にし、現在まで市場関係者・消費者に一切の説明がないことを批判し、「十分な説明を行い、その理解を得る」とした政府答弁にも程遠く、それにもかかわらず農水相が認可したことについて「絶対に許される事ではなく、安倍首相、斎藤農水相には重大な説明責任がある」としています。

理不尽な移転は中止すべきです。

キケン！ 「環2」暫定道路の急カーブ



9月15日、環状2号線見学会が開かれました。私は、晴海の受付場所から勝どきのマンションの「谷間」を抜け、築地大橋を渡り、築地市場まで歩きました。

一番の難所、市場の急カーブは、想像以上でした。「何が何でも市場をどかしてやろう」という強引さの象徴ではないでしょうか。



勝どきのタワーマンションすれすれに通る環状2号線 騒音、排気ガス…生活環境が心配です

